

いちのみやの芸術文化

■ 特集「いちのみやの戦国史跡（関ヶ原合戦）」

■ 「エッセイ」ワケワカラナイ行為との出会い

「宮美術作家協会」洋画部 後藤 泰洋

「活動」管弦楽組曲「伸び行く一宮」

「一宮市民吹奏楽団」 浅井 英仁

福島正則駒繫ぎ址
慶長五年（一六〇〇）年八月関ヶ原の役、東軍の先鋒福島正則の兵一萬七千人が同日、白美濃の町、喜波軍を攻めんとし、是に集結した時に止別此の地、杉の大樹に駒を繫いで形勢を察し、たと傳えられた
起 町

■ 役員紹介・加入団体一覧

■ これからの催し

福島正則駒繫ぎ跡

2016.6

第37号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

いちのみやの戦国史跡（関ヶ原合戦）

関ヶ原合戦といちのみや

豊臣秀吉は全国統一を果たしましたが、政権を安定させることなく、慶長三年（一五九八）に亡くなりました。

秀吉の死後、家臣団内部では福島正則（ふくしまのり）などの武功派の武将と、行政を担う石田三成（いしだみつなり）などの奉行たちとの対立が激しくなり、武功派の武将は関東を治める徳川家康と繋がりや強め、家康も天下の覇権を獲得するため動き出しました。三成は家康に対抗するため、毛利家や島津家などの西国の有力大名を味方に引き入れ、慶長五年（一六〇〇）には、東軍（徳川）・西軍（石田）が衝突する関ヶ原合戦が起きました。

戦場は関ヶ原だけでなく、日本全国で戦いが行われました。

石田三成の美濃進出

家康が福島正則等と会津攻めに向かったのを契機に大坂で挙兵した三成は美濃方面に進出し、

慶長五年（一六〇〇）八月十一日、小西行長（こにしゆきなが）、島津義弘（しまづよひろ）とともに大垣城に入り、美濃にいた大名の多くは三成に味方し、当初、三成は尾張への進出も考えていたようです。しかし、福島正則の軍勢が八月中旬には清洲城に入ったことと一部的美濃の大名が東軍に味方したことで、三成は美濃から進出できませんでした。

岐阜城には信長の嫡孫織田秀信（おだひでのぶ）、美濃路沿いの竹鼻城には杉浦重勝（すぎのうらむねかつ）、犬山城には石川貞清（いしかわあきたきよ）と、美濃の大名が配置され、木曾川を境に両軍がにらみ合っていました。全体では西軍は東軍を上回る軍勢を集めました。伊勢や北陸方面の東軍を攻めるために兵力は分散し、美濃にはそれ

出てくる主な大名

西軍	東軍
石田三成	福島正則
小西行長	徳川家康
島津義弘	黒田長政
織田秀信	細川忠興
杉浦重勝	池田輝政
石川貞清	山内一豊
	一柳直盛

ほど集まっています。ただ、家康も会津の上杉家の様子を気にして、江戸からなかなか動き出せませんでした。

東軍、木曾川を渡る

八月二十一日、福島正則等は家康の到着を待たずに行動を開始しました。軍勢を二手に分け、福島正則、黒田長政（くろだながまさ）、細川忠興（ほそがわたあき）などの軍勢一万六千は美濃路を南下し、起から木曾川を渡り竹鼻城を攻め、池田輝政（いけだてるまさ）、山内一豊（やまうちかずとよ）、一柳直盛（いちりゅうちかもり）などの軍勢一万八千は清洲から北上し、一宮、黒田を通り河田（こうた）から岐阜に向いました。

起の大明神社に福島正則が馬を繫いだとされる巨木が昭和二十年代まであったそうです。現在その巨木はなくなり、石碑のみが残っています。



▲福島正則駒繫ぎ跡(起字堤町)

福島正則の軍勢は起から渡ろうとしましたが、木曾川の砂浜に足をとられて思うように前進できず、対岸から銃撃を受けました。そのため、下流の加賀野井から渡りました。この時に福島正則を案内したのが、後の起宿本陣となる加藤家とされています。竹鼻城は十二日の午後四時頃、落城しました。

一方、河田方面に向かった池田輝政は二十一日早朝に河田から渡河を開始しました。岐



▲米野の戦い跡(羽島郡笠松町米野)

阜城の織田軍は城を出て迎え撃ちました。川を渡る東軍に鉄砲を浴びせましたが、大軍の勢いで木曾川を渡り、米野で白兵戦となりました。多勢に無勢の織田方は岐阜城に撤退しました。この戦いでは地元の黒田城主一柳直盛の家臣大塚権太夫が一番槍で木曾川を渡り討死しています。また、輝政の木曾川渡河を里小牧の高橋源左衛門、広瀬嘉右衛門が助けたとされます。



▲高橋源左衛門旧居跡(北方町北方)

三成は大垣城を出て、揖斐川の渡場がある沢渡に布陣し、島津の軍勢は墨俣に布陣しました。美濃路の要所を固め、攻め上る東軍を迎え撃つ準備をしましたが、岐阜城が落城し、長良川も突破されたことから、全軍を大垣城

に集めました。八月二十四日、東軍は大垣の北西に位置する赤坂に布陣しました。この東軍の進撃により、西軍は窮地に立たされ、孤立した犬山城にいた大名の多くが東軍に寝返りました。さらに伊勢安濃津城攻めに参加していた鍋島勝茂(佐賀城主)や北陸に出陣していた京極高次(大津城主)は美濃に向かうことなく戦線を離脱し、東軍に寝返りました。大垣城にも多くの増援部隊が到着しましたが、士気は低く、足並みも乱れていました。

九月十四日、家康が赤坂に到着し、翌日東西両軍は関ヶ原で衝突、家康が勝利し天下の覇権を握りました。竹鼻城の戦いや河田米野の戦いは関ヶ原の戦いの影に隠れて目立ちませんが、戦局が東軍有利に傾いた瞬間でもありました。



▲関ヶ原古戦場跡(関ヶ原町関ヶ原)

一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史

ワケワカラナイ行為との出会い

洋画部門 一宮美術作家協会／洋画部 後藤 泰洋

立春が過ぎたばかりで冷え込みがきつい二月六日。十九時開演の「行為の思考(林裕司企画)」を見た。長者町トランシットビル(名古屋市中区錦二丁目)内にあるギヤラリー「ZmarkB1」で、愛知県在住の田中恵や鈴木優作、浜島嘉幸、藤條虫丸らの名称不能表現者の競演である。名前のとおりワケワカラナイ行為だから見たいという好奇心に駆られる。

浜島嘉幸はヤモリが壁を這うように超スローに動き、変化する。指先の微妙な動きまで、彼の命をかける行為である。と突如、反対



浜島 嘉幸「身体表現」

側の壁に矢のような速さで跳んだ。十分、二十分と行為は続く。やおら上衣を脱ぎだし、裸になり闇に消えていく。母の胎内への回帰か。踊りでもダンスでもない身体表現という行為に、会場は割れるような拍手に包まれる。

藤條虫丸は磨赤児の舞踏のように全身を白く塗り、白いコスチュームで白い壁の空間の中でゆるり、ゆるりと踊り、動き、変化する身体表現者である。自称天然肉体詩人である。やがて遠くに聞こえるリスミカルな音(楽)に導かれ、体形は動き、変化し、花道へと踊り進む。階段を上りながら行為は続く。暗い会場は静まり、突然場内が明るくなる。観衆は我に返り、拍手が鳴り止まない。表現者と観衆が一つになった快感がたまらない。

ワケワカラナイアート探しをもう一つ。「K.Art Studio」は作家の加藤慶が自



加藤 松雄「磁場に向けて」

宅を開放したオフギャラリーで、ユニークな雰囲気の中、オリジナルな作家を紹介している。初めて見る作品の前では緊張し、作品を見る目も奥が深くなる。最初はピントが合わなくても、慣れてくると自分なりに見えるようになる。どうしてもピントが合わない作品は問題作で、また見るのが楽しみである。

加藤家は父が美術大学教授・松雄、作家の慶、夫人が作家・麻子とアーティストファミリーである。

父の加藤松雄元名古屋造形短期大学教授は、元一宮市美術展「デザイン部門」の審査員であった。絵画制作は熱烈で、抽象、具象と形式に拘らず如何なる時もブレのない表現者で、彼とのアート話は刺激



加藤 慶 個展より(市民ギャラリー矢田)

加藤慶は二〇一〇年の「K.Art Studio」オープン後、企画やアートショップ、レンタルスペースと多彩、作家としても絵画個展、ライブペインティング、身体表現と音のコラボレーションなどを発表している。六月には父子展も開催されており、お互いがライバルであるという刺激が、創作のエネルギーになっていく。

普段、絵画や彫刻を作っている者がこうしてワケワカラナイ行為の場に立つと、新しい明日が見えてくる。相互作用である。キャンバスに向かっているだけでは明日は見えない。今日は今日、明日は今日の続きではない。明日は明日である。

管弦楽組曲「伸び行く一宮」

管弦楽・吹奏楽部門

一宮市民吹奏楽団 浅井 英仁

一宮市民吹奏楽団は昭和四十九年の発足以来、六月と十二月に演奏会を開催し、「一宮七夕まつり」などの地域行事にも毎年参加しております。演奏会ではクラシックの名曲をはじめ、ご来場の皆様に楽しんでいただけるよう、ポップスや演歌など、様々な曲を演奏しております。これまでに演奏した曲数は、ついに千曲を超えました。

その一つ、平成二十三年十二月に一宮市制九十周年記念として五十年ぶりに演奏した管弦楽組曲「伸び行く一宮」は、当団にとつても大切な曲になります。

この曲は団発足の恩師である、元NHK名古屋放送管弦楽団指揮者の故中山義



一宮市制90周年記念第36回定期演奏会

雄先生から、三十年ほど前に受け継いだ多くの楽譜の中にこの曲はありました。それは鉛筆で書かれた楽譜で、作曲者や由来については一切不明でした。しかし、幸いにも市内在住の佐藤親司さんが保管していた当時のプログラムによって、以下のように明らかにになりました。

戦災で焼失した真清田神社の楼門が、昭和三十六年十一月に再建されたのを祝い、「躍進の一宮を象徴する」曲として、一宮商工会議所会頭を努めた、四代目豊島半七さん達の提唱によって作られました。作曲は、元NHK



当時(昭和37年)のプログラム

K名古屋放送管弦楽団の杉原良雄さん。初演は、昭和三十七年三月三十日に中山義雄先生の指揮の下、一宮商工会議所管弦楽団により演奏されました。

三つの楽章からなり、第一楽章「真清田の夜明け」は、雅楽を思わせる響きで、新たな一歩を踏み出す様子を。第二楽章「まつり」は、和太鼓やチャンチキの軽快なリズムが、門前の賑わいを表し。第三楽章「伸び行く一宮」は、ハッチャエ節のメロディーが優雅に流れ、蒸気機関車のような力強いリズムによって、発展する一宮を想像させています。



真清田神社楼門

当時、真清田神社の復興は一つの曲を生み出すほどの大きな事業で、一宮市の復興とともに、人々の喜びの一つであったと思います。

恩師への思いが詰まったこの「伸び行く一宮」は、残された手書きの楽譜から作者の息づかいだけでなく、当時の市民の思いも感じることができ、一宮市にとつても大事な曲になります。これからも演奏を通して、地域文化の発展や生涯学習事業に貢献できるように活動して参ります。



「伸び行く一宮」手書き楽譜〔Conductor・指揮者用〕

一宮市芸術文化協会役員

※7・8ページに加入団体一覧表を記載します。

役職名	氏名	備考(部門/団体名)
名誉会長	中野正康	一宮市長
会長	加藤昌義	茶道部門/同派会
副会長	不破 皓	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
会計	不破 務	舞踊部門/新舞踊あすか会
監事	夫馬 勲	写真部門/一宮写真協会
	鶴飼輝子	吟剣詩舞部門/柳翠剣詩舞道会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部門
			○		部長
青木小代子	後藤富士雄	加藤照子	坂井 齊	川合順夫	氏名
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名

文社化部会			芸能部		音楽部						美術部				部			
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	管弦楽部門	吹奏楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
		○	○					○								○		部長
柳原 田主子	野々村 京子	岩田 宗晋	木全 修	越智 實	浅井 英仁	不破 清子	久野 以早夫	鎌田 猛	森 恒夫	水谷 富士雄	安藤 治仁	岩田 澗流	鶴飼 辰郎	三輪 清弘	丹羽 桃慶			氏名
一宮アーティフィシャルフラワー協会 鶴の会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	琴伝流大正琴稀会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 / デザイン・工芸部 彫塑部	一宮美術作家協会 / 洋画部	桃墨会			団体名

(敬称略)

加 入 団 体 一 覧

(平成28年5月現在)

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
文学部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
		葉 栗 俳 句 教 室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
		き き よ う の 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 大志公民館
		千 秋 俳 句 ク ラ ブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
		神 山 女 性 句 会	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 神山公民館
		尾 西 牡 丹 会	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾 西 み な み 俳 句 会	毎月第1金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		尾 西 仏 手 柑 句 会	毎月第2日曜日：午後3時～ 応蓮寺
	尾 西 新 樹 会	毎月第1月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
	川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館
詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。	
	一 宮 漢 詩 瀟 聲 會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館	
美術部	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。
		桃 墨 会	毎月第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター、第2・4土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター
	洋 画 部 門	尾 西 作 家 協 会	事務局へお問合せください。
		一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第1・第3土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
		水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		グ ル ー プ 絵 ぞ こ ろ 三 美 会	毎月第1・2・3木曜日：午後1時～ 小信中島公民館
		楽 し く 描 こ う 会	毎月第2・4土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		尾 彩	毎月第2・4火曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター西館
		ポ ビ ー の 会	毎週水曜日 講師宅
		尾 西 ガ リ バ ン パ ン の 会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		パ レ ッ ト 会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		木 曾 川 絵 画 同 好 会	毎週水曜日：午後1時30分～ シルバー人材センター木曾川支部、毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館
		ブル シ ャ ン ブ ル ー	毎月第1・3木曜日：午後1時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		イ エ ロ ー オ ー カ ー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		山 ぶ ど う の 会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
		土 筆 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
	あ ざ み の 会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター	
	花 畑	毎月第2水曜日：午前9時30分～ 北方公民館	
	ゆ ず の 会	毎月第1・3金曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	デ ザ イン ・ 工 芸 彫 塑 部 門	一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。
		陶 順 会	毎週月・火・金・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター
		楽 陶 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 講師宅
		尾 張 も め ん 伝 承 会	毎月第4日曜日：午後2時～ 産業体育館
		尾 西 面 打 会	毎月第1・3土曜日：午前9時～ 旧湊屋文右衛門邸湊屋
	書 部 門	一 面 会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ アイブラザー宮
		公益社団法人中部日本書道会一宮支部	事務局へお問合せください。
麗 筆 会		事務局へお問合せください。	
写 真 部 門	日 中 古 墨 書 道 友 好 協 会 尾 張 支 部	毎月第2・4水曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	一 宮 写 真 協 会	事務局へお問合せください。	
音 楽 部	邦 楽 部 門	一 宮 三 曲 協 会	事務局へお問合せください。
		三 山 会	毎週土曜日：午後2時～ 講師宅
		里 音 会	毎週土曜日：午後3時～ 金剛幼稚園
		す み れ 箏 の 会	(随時) 講師宅
		美 友 会	(随時) 講師宅
		藤 乃 会	(随時) 講師宅
		尾 西 三 味 線 薫 世 智 会	毎月第1・3木曜日：午前9時～、第2・4木曜日：午前10時30分～ 小信中島公民館
津 軽 三 味 線 恋 糸	(随時) 講師宅		

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所	
音 楽 部	謡 曲 部 門	相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ 名鉄百貨店一宮店	
		竹 石 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社	
		誠 諷 ・ 緑 風 会	毎月第1・3水曜日：午後1時30分～ 島村公民館、第2・4月曜日：午前9時30分～ 河端公民館、第2・4金曜日：午後1時～ ききょう会館	
		清 宵 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館	
		丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館	
	吟 剣 詩 舞 部 門	紅 韻 会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅	
		一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。	
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午前10時～ 尾西文化広場	
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 小信中島つどの里、毎月第2木曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター	
		柳 翠 剣 詩 舞 道 会	毎週水曜日：午後1時～ 小信中島つどの里、金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 他	
	山 瑩 会	山 瑩 会	週1回 山瑩会教室 他	
		一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後7時～ カトリック一宮教会	
		佳 富 士 会	毎月第2・4土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター西館	
	器 楽 部 門	尾 西 民 謡 熹 世 智 会	毎月第4木曜日：午後7時～ 小信中島公民館	
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	毎週金・土曜日：午後1時～ 尾西文化広場、毎月第1・2・4火曜日：午後1時～ 産業体育館	
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 女 会	毎週火曜日：午前10時～ 三条・渡由宅、金曜日：午前10時～ 開明公民館	
		安 美 & コ ン プ リ オ	(随時) 講師宅	
		木 曾 川 ラ イ ト ソ ン グ ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後7時～ 木曾川公民館	
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	特 定 非 営 利 活 動 法 人 旭 雅 楽 会	毎月1、15、28日及び第2・4日曜日：午後6時～ 尾張猿田彦神社	
		一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター	
		尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館	
		一 宮 シ テ ィ 合 奏 団	毎月第2土曜日：午後6時30分～ 中日新聞一宮支局、第4日曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		き そ が わ ポ ッ プ ス バ ン ド	毎月第2～5日曜日：午後5時30分～ 木曾川公民館	
	芸 能 部	舞 踊 部 門	一 宮 舞 踊 協 会	事務局へお問合せください。
			ハ ワ イ ア ン ・ フ ラ	毎週火曜日：午前9時～、水曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター西館
新 舞 踊 あ す か 会			毎週水曜日：午後6時～ 起つどの里	
坂 東 流 百 喜 久 会			月2回 木曜日：午後1時～ 講師宅	
坂 東 流 百 の 会			月2回 木曜日：午前9時～ 尾西文化広場	
扇 寿 々 会			毎週火曜日：午後1時～ 大志公民館	
芳 美 会		毎週月曜日：午前9時30分～ 午後5時30分～ 向山公民館		
芸 能 部 門	一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。		
社 会 文 化 部	茶 道 部 門	同 派 会	事務局へお問合せください。	
		弥 生 会	事務局へお問合せください。	
		茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。	
		茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。	
		表 千 家 尾 西 玉 香 会	月3回 火曜日：午後2時～ 講師宅、金曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
		尾 西 表 千 家 木 野 (文) 会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅	
		尾 西 緑 寿 会	月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
		尾 西 清 真 会	毎週火曜日：午後1時30分～ 講師宅	
		裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中	毎週月・水曜日：午後7時～、土曜日：午前9時30分～ 講師宅、日曜日：午後2時～ 火・金曜日：午後1時～ たんぼろランドハウス	
		松 風 会	毎週水曜日：午後7時～ 講師宅	
		裏 千 家 白 河 社 中	毎週木・土・日曜日：午後2時～ 講師宅	
		裏 千 家 住 田 社 中	毎週月曜日：午後6時～、水曜日：随時、土曜日：午後3時～ 講師宅	
		華 道 部 門	一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。
	池 坊 尾 西 玉 香 会		月3回 火曜日：午後2時～ 講師宅	
	尾 西 小 原 流 算 社 中		月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
	尾 西 池 坊 木 野 (文) 会		月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅	
	小 原 流 紫 苑 会		毎週金曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午後2時～ 講師宅	
	社 会 文 化 部 門	尾 西 花 紘 会	毎月第4月曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
		一宮アーティフィシャルフラワー協会 鶴の会	毎週火曜日：午前10時～ 一宮スポーツ文化センター	
		一宮アーティフィシャルフラワー協会 風雅の会	毎月第2・4火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
一宮アーティフィシャルフラワー協会 彩華の会		毎月第1・3火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター		
	歌 楽 会	(随時) 講師宅		

いちのみや文芸
2016
作品募集

1、募集種目

① 随想・随筆 一人1編
(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

② 現代詩 一人1編
(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

③ 漢詩 絶句、一人2首以内

④ 短歌 一人8首以内
(題を付けること)

⑤ 俳句 一人10句以内
(新かな使い、旧かな
使いを明記のこと)

⑥ 川柳 一人10句以内

⑦ 狂俳 一人10句以内

2、応募上の注意

① 応募は、一人3種目以内と
します。

② 用紙は、A4判の4000字
詰原稿用紙とし、種目ごと
に別紙を用いてください。
パソコンなどを使用する場
合は、A4判白無地の用紙
を横長に用い、20字×20行
で印字してください。

③ 原稿は縦書きとし、文字は
正確に読みやすく書いてく
ださい。

ください。

④ 原稿には、欄外に種目を記
入してください。その他に
氏名、号(必要に応じ)、
年齢、住所(番地まで正確
に)、郵便番号、電話番号を
記入してください。なお、
氏名および号には振り仮名
をつけてください。

⑤ 原稿は文字のみとし、挿絵
や写真等は掲載しません。

⑥ 応募原稿は返却しません。

3、応募資格
市内在住・在勤または一宮
市芸術文化協会加入団体に所
属している人

4、作品の採否
応募作品の採否については、
編集委員が選者となり、編集
委員会で決定します。

5、応募方法
〒491-8501(住所記載不要)
一宮市芸術文化協会事務局
『いちのみや文芸』係(一宮市
教育委員会 生涯学習課内)
までお送りください。

6、発刊予定
平成28年7月1日(金)必着
平成28年10月15日(土)
1冊800円(予定)

いちのみや民俗芸能のつどい

8月21日(日) 正午～(予定)

一宮市民会館

一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地
に伝わる民俗芸能を上演します。

入場無料



【出演予定団体】 石刀祭山車保存会、ばしょう踊保存会、
一宮真清伶人会、宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、
機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会、
瀬部山車・白台祭保存会のみなさん

文化情報



「On The Terrace」 大島 信人

《市および市内公共施設の催し予定》

※一宮市博物館・三岸節子記念美術館
・尾西歴史民俗資料館について
○入館は午後4時30分まで
○月曜休館(月曜日が休日の場合は開館)、休日の翌日休館

一宮市博物館

☎(46)3215

夏季小展示「土の中のいちのみや」

日時 7月16日(土)～8月21日(日)
午前9時30分～午後5時

内容 土の中に埋もれていた昔の人々の道具から、かつてのいちのみやの姿を紹介します。

観覧料 無料

企画展「2016 一宮美術作家協会展」

日時 8月27日(土)～9月11日(日)
午前9時30分～午後5時

内容 一宮美術作家協会会員による、最新の発想でイメージの試作を展開した絵画・平面、彫刻・立体、デザイン、工芸の力作を展示します。

観覧料 一般 200円

高大生 100円
小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

※6月13日(月)から11月30日(水)まで、設備工事のため臨時休館します。

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

特別展「戦時下の織物業」

日時 6月18日(土)～8月21日(日)

午前9時～午後5時

内容 戦時下の尾西地方における織物業について紹介します。

観覧料 無料

子ども講座

「藍の生葉染めを体験！」

日時 7月31日(日)

午前9時30分～正午

内容 親子で藍の生葉を使った染色を体験します。

対象 小中学生とその保護者

※要参加費・要申込み。詳しくは広報7月号を参照

中央図書館

☎(72)2343

展示「原爆と人間展」

日時 8月6日(土)～14日(日)

午前9時～午後9時

内容 原爆に関するパネルを展示します。

会場 6階 多目的室2

観覧料 無料

一宮市観光協会

☎(28)9131

「第61回おりもの感謝祭」

一宮七夕まつり

日時 7月28日(木)～31日(日)

午前10時～午後9時

内容 真清田神社や本町商店街をメイン会場にパレードやステージイベントを開催します。

会場 市内一円

入場料 無料(以下同じ)

「濃尾大花火」

日時 8月14日(日)

午後7時30分～8時45分

※順延の場合16日(火)

内容 尾張地方随一の二尺玉など、約五千発の花火を打ち上げます。

会場 濃尾大橋北木曹川河畔

市生涯学習課

☎(85)7075

「市民美術教室」

「水彩画」

日時 9月1日～10月27日の毎週

木曜日(9月22日は除く)

「版画とガラス絵」

日時 9月6日～10月25日の毎週
火曜日

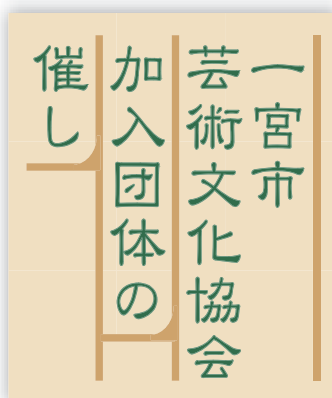
【染色】

日時 9月28日～10月19日の毎週
水曜日

会場 一宮スポーツ文化センター

対象 市内在住・在勤・在学

※全コースとも、要受講料。また
所定の締切日までに事前の申込
が必要。なお日程は予定のため
変更する場合あり。詳しくは広
報8月号を参照



『一宮市民吹奏楽団レインボー
コンサート2016』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)99987

日時 6月19日(日) 午後1時30分

～3時30分(開場は30分前)

会場 一宮市民会館

内容 第一部では「エニグマ変奏
曲」や「アルルの女 第2
組曲」、第二部では「パリの

喜び」や「サウンドオブミ
ュージック」などを演奏し
ます。

入場料 500円 前売400円

『瀟聲會定例会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時 6月25日(土)・7月23日(土)

午前10時～

会場 中央図書館

内容 漢詩文の基本的な読み方を
はじめ、作者の時代背景に
も触れながら初めての方に
も分かりやすく「唐詩三百
首」を解説します。(初心者
歓迎)

講師 三島徹氏(東洋文化振興會
会長)

参加料 月2、000円

申込み 当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 6月26日(日)・8月28日(日)

午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 当季雑詠3句を一宮市民俳
句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(77)3479

日時 6月26日(日)・7月24日(日)

8月28日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 自由吟および課題吟を一宮
川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時 7月5日(火)・9月6日(火)

午前10時～

会場 中央図書館

内容 漢詩文の作り方の指導をは
じめ、持ち寄った創作詩の
添削の検討を会員間で行い
ます。(初心者歓迎)

参加料 年3、000円

申込み 当日直接会場

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時 7月10日(日)・8月14日(日)

9月11日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター
内容 真清短歌会委員により実作
指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『花柳流こま希久会ゆかた会』

【問合せ先 一宮舞踊協会】

☎(45)5498

日時 7月17日(日)

正午～3時30分

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 日舞発表会

入場料 無料

『100人展』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時 7月22日(金)～24日(日)

午前10時～午後5時(24日
は午後4時まで)

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 100人の会員の作品を展
示します。

入場料 無料

『墨岩祇園祭保存会 墨岩祇園祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時 8月6日(土) 午後7時～

会場 石刀神社(浅井町黒岩)

内容 わら舟を乗せた山車に提灯

を飾りつけ、お囃子とともに練り歩きます。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月7日(日) 午前9時〜

会場▼島村公民館(島村字石畑)

内容▼市の有形民俗文化財である島村地区の文楽人形の虫干しをします。

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51)2286

日時▼8月13日(土)午前9時30分〜

9月10日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

『瀬部山車・臼台祭保存会臼台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月20日(土)

午後6時30分〜

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがけ、笛や太鼓のお囃子に合わせ境内をねり歩きます。

一宮七夕まつり

7月28日(木)〜31日(日)



一宮七夕まつり

協賛事業

『狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51)2286

日時▼7月9日(土)

午後1時〜5時

会場▼葉栗公民館

対象▼どなたでも

参加料▼500円

『第44回学生書道展・第23回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎(51)0646

日時▼7月16日(土)・17日(日)

午前10時〜午後4時

(16日は午後1時から)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼特別出品の部、及び一般公募の部上位入賞作品の展示と、役員と指導者の楽しくユニークな小作品を展示します。

会場▼尾張一宮駅・名鉄一宮駅周辺から、真清田神社までの中心商店街。

『短歌大会』

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎(72)2338

日時▼7月29日(金)〜31日(日)

正午〜午後5時

会場▼一宮スポーツ文化センター

呈茶券▼前売券 500円

当日券 550円

入場料▼無料

『舞楽奉納』

【問合せ先 一宮真清伶人会】

☎(73)8970

日時▼7月30日(土)

午後7時〜8時

会場▼服織神社(真清田神社境内)

観覧料▼無料

『写真コンテスト』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月30日(土)・31日(日)

午前10時30分〜午後2時

会場▼尾張一宮駅・名鉄一宮駅周辺から、真清田神社までの中心商店街。

対象▼どなたでも

参加料▼無料

『短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼7月31日(日)

午後1時〜4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも

参加料▼500円

『俳句大会』

【問合せ先 一宮俳句協会】

☎(73)5504

日時▼7月31日(日)

午前11時〜午後4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも

参加料▼500円

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)9987

日時▼7月31日(日)

午後4時30分〜5時30分

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料

『手踊り』

【問合せ先 宮後住吉踊保存会】

☎(45)7300

日時▼7月31日(日)

午後6時30分〜7時

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213

【題字】武山翠屋
【編集・発行】一宮市芸術文化協会